

草津栗東行政事務組合火葬場整備・運営事業

審査講評

令和7年3月21日

(仮称) 草津栗東火葬場整備・運営PFI事業者等選定委員会

(仮称)草津栗東火葬場整備・運営PFI事業者等選定委員会(以下「選定委員会」という。)は、草津栗東行政事務組合火葬場整備・運営事業(以下「本事業」という。)に関して、落札者決定基準(令和6年10月8日公表)に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果および審査講評をここに報告します。

令和7年3月21日

(仮称)草津栗東火葬場整備・運営PFI事業者等選定委員会

委員長 黒川 清登

副委員長 近本 智行

委員 菊池 健太郎

委員 中山 仁美

委員 森山 雄嗣

目 次

1	事業者選定の方法	1
2	選定委員会の構成	1
3	選定委員会の開催経過	1
4	審査の方法	2
5	審査の結果	2
	(1) 参加資格確認審査	2
	(2) 提案審査	2
6	審査講評	4

1 事業者選定の方法

本事業における事業者の選定は、造成、設計、建設、維持管理、運営の各業務を通して、事業者に効果的かつ効率的なサービスの提供を求めるものであり、事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価する必要があることから、造成、設計、建設、維持管理、運営における業務遂行能力、経営能力、地域の活性化への配慮および組合の財政負担の軽減等を総合的に評価する為、総合評価一般競争入札方式を採用した。

2 選定委員会の構成

組合は、落札者選定にあたり学識経験者等で構成される選定委員会を設置した。

(敬称略、委員長および副委員長を除き五十音順)

区分	氏名	所属機関
委員長	黒川 清登	立命館大学経済学部 教授
副委員長	近本 智行	立命館大学理工学部 教授
委員	菊池 健太郎	菊池健太郎公認会計士事務所 公認会計士
委員	中山 仁美	田中彰寿法律事務所 弁護士
委員	森山 雄嗣	特定非営利活動法人日本環境斎苑協会 主任研究員

3 選定委員会の開催経過

選定委員会の開催経過は、以下のとおりである。

選定委員会	日程	主な議題
第1回	令和6年1月30日(火)	<ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付式・委員会の役割・委員長・副委員長の選任・会議の公開等・(仮称)草津栗東火葬場整備・運営事業の概要
第2回	令和6年4月24日(水)	<ul style="list-style-type: none">・実施方針(案)および要求水準書(案)の確認・採点方法等の検討
第3回	令和6年8月31日(土)	<ul style="list-style-type: none">・落札者選定基準(最終案)・その他公募資料への意見等
第4回	令和7年2月27日(木)	<ul style="list-style-type: none">・参加資格の確認結果の報告・提案審査について(採点方法等)・意見交換
第5回	令和7年3月10日(月)	<ul style="list-style-type: none">・事前の仮採点結果の報告・入札参加者ヒアリング・意見交換・最終審査(本採点)・最優秀提案者の選定、組合への選定報告

4 審査の方法

審査は、参加資格確認審査と提案審査の二段階に分けて実施した。また、提案審査においては要求水準を満たしていることを確認（基礎審査）した上で、提案内容の評価については、提案内容を落札者決定基準の審査項目ごとに選定委員会により審査した結果を点数化した。また、入札金額については、落札者決定基準で示した計算式により点数化した。

選定委員会は、提案内容の評価点および価格の評価点の合計点を総合評価点とし、総合評価点の最も高い提案を最優秀提案者として選定する。

なお、選定委員会は、応募者グループおよびグループを構成する企業が特定できない匿名の提案書類により審査した。

5 審査の結果

(1) 参加資格確認審査

以下の2グループから参加表明書等（参加資格確認申請書を含む）の提出があり、組合は、いずれのグループとも入札公告に記載の入札参加者の参加資格要件を満たしていることを確認し、選定委員会に報告した。

【入札参加資格確認者（参加表明書受付順）】

入札参加資格確認者	代表企業名
東亜建設工業グループ	東亜建設工業株式会社 大阪支店
合人社計画研究所グループ	株式会社合人社計画研究所

(2) 提案審査

ア 提出書類の確認

参加表明のあった入札参加資格を有する2グループすべてから入札提出書類（提案書）の提出があり、組合は、いずれのグループとも入札参加者に求めた入札提出書類（提案書）がすべて揃っていることを確認し、選定委員会に報告した。

【入札参加者（入札提出書類（提案書）受付順）】

入札参加資格確認者	代表企業名
青グループ (合人社計画研究所グループ)	株式会社合人社計画研究所
赤グループ (東亜建設工業グループ)	東亜建設工業株式会社 大阪支店

イ 入札金額の確認

組合は、入札提出書類の提出があった2グループから提出された入札書に記載された入札金額が予定価格を超えていないことを確認し、選定委員会に報告した。

ウ 基礎審査

組合は、入札金額が予定価格の範囲である2グループを対象に、入札提出書類（提案書）の各様式に記載された内容が入札説明書等に記載された要件および要求水準書において定める性能や仕様等の水準を満たしていることを確認し、選定委員会に報告した。

エ 提案内容の評価

選定委員会は、基礎審査を通過した2グループにヒアリングを行い、ヒアリングの結果を踏まえて、提案内容の評価を行った。

提案内容の評価は、提案内容の審査項目について、評価の視点ごとに各選定委員が個別に評価を行い、委員5名のうち最高得点と最低得点を除いた残りの3名の委員の得点を平均し、点数化を行った。

なお、得点は小数第3位を四捨五入し、小数第2位以上を評価点とした。

【提案審査の配点】

評価項目	配点
提案内容の評価	70点
1 事業計画に関する事項	10点
2 施設整備業務に関する事項	36点
3 維持管理業務に関する事項	12点
4 運營業務に関する事項	12点
価格の評価	30点
合計	100点

【提案内容の点数化方法】

評価	判断基準	点数化方法
A	特に優れている。	配点×1.00
B	AとCの中間程度である。	配点×0.75
C	優れている。	配点×0.50
D	CとEの中間程度である。	配点×0.25
E	優れている点が認められない。(要求水準を満たす程度)	配点×0.00

オ 価格の評価

価格の評価については、入札金額を次の方法で点数化した。

なお、得点は小数第3位を四捨五入し、小数第2位以上を評価点とした。

$$\text{価格の評価点} = \text{価格評価の配点 (30点)} \times (\text{最低入札金額} / \text{当該入札金額})$$

各グループの入札金額は、以下のとおりである。

【入札金額（税別）（ヒアリング順。以下同じ。）】

	赤グループ	青グループ
入札金額	4,523,391,013 円	4,524,467,080 円

カ 総合評価点

総合評価点については提案内容の評価点と価格の評価点の合計により算出した。
各グループの総合評価点は、次のとおりである。

【総合評価点】

	赤グループ	青グループ
提案内容の評価点	47.65	39.40
価格の評価点	30.00	29.99
総合評価点	77.65	69.39

キ 最優秀提案者の選定

選定委員会は、総合評価点の得点が最も高い赤グループを最優秀提案者として選定した。

6 審査講評

両グループともに提案が丁寧で、かつ、レベルが高く、どちらも想像以上の素晴らしい提案であった。

いずれの提案も各事業者の実績を基にした独自のノウハウを踏まえた創意工夫が盛り込まれており、組合の要求水準を満たす提案内容が示されていた。

選定委員会は、落札者決定基準に基づき、厳正かつ公正に審査および評価を行い、赤グループを最優秀提案者として選定した。

その評価項目別の評価点および講評を【別紙 審査講評等詳細】のとおり示すものである。

今後、最優秀提案者として選定された赤グループが組合と事業契約を締結し、本事業を実施するに当たり、選定委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行するとともに、本事業をさらにより良いものとするため、組合と十分な協議を行い、特に以下の点について配慮されることを要望する。

- ・設計企業を中心に確実に計画を遂行されたい。また、代表企業は設計企業をサポートし、確実なマネジメントを行うことを強く期待する。責任感を持って代表企業を努めて頂きたい。
- ・口頭の説明であっても契約の一部を成す事項であり、守って頂く必要がある。維持管理・運営期間に責任者が変更となる場合であっても、グループ全体で組合とコミュニケーションを取り、大過なく運営できる人員配置を守って頂きたい。加えて、地元の雇用を守ることも一定の策を持っているということであったため、確実に発揮されることを期待したい。
- ・火葬燃料をLPGとし、本事業期間中は特別な調達を約束する提案となっているが、事業期間終了後にLPGの調達単価をスムーズに引き継げるかが懸念点である。火葬炉の主燃料に係る調達コストは運営に与える影響が大きいため、履行確保が行えるような手続きを期待したい。

本事業の実施に当たり、組合と最優秀提案者とのお互いの経験とノウハウを十分に活かした良好なパートナーシップのもと、最優秀提案者においては、草津市および栗東市の両市民ニーズに適合した質の高い火葬サービスを提供するため、尽力されるよう期待される場所である。

【別紙 審査講評等詳細】

評価項目		配点	赤 グループ	青 グループ	講評
(1) 事業計画に関する事項	取組方針、実施体制	4	3.00	2.00	両グループとも十分な実績ある人員が配置される点は評価された。 特に赤グループは、基本方針に沿った取組方針が明確であった点が高く評価された。
	リスク管理	3	2.00	1.25	赤グループは、収支計画が詳細に検討されている点が評価された。
	地域への貢献	3	1.75	1.75	両グループとも地域雇用を推進する点が評価された。
	小計	10	6.75	5.00	
(2) 施設整備業務に関する事項	配置計画等	10	6.66	5.83	両グループともに建物の高さについて一定の工夫が見受けられる点が評価された。 特に赤グループは、バックヤードスペースの確保も含め、明快な構成になっている点が高く評価された。
	施設計画	10	6.83	5.25	赤グループと青グループで異なるゾーニングが提案された。 待合ロビーやキッズコーナーの位置、混雑時の会葬者動線の輻輳については、赤グループの提案が高く評価された。
	火葬炉設備計画	7	4.50	4.83	両グループとも豊富な実績に裏付けられた火葬炉設備計画が提案された点が評価された。 赤グループは、メンテナンス性が評価された。 青グループは、運転操作性等について高く評価された。
	環境への配慮	3	2.00	1.25	赤グループは、Z E B R e a d y、自然エネルギー利用について実現性が高い提案となっている点が評価された。
	災害に強い施設づくりへの配慮	3	1.75	1.50	両グループとも災害時の稼働について具体的な提案がなされている点が評価された。 特に赤グループは、堅牢性が高い構造計画が高く評価された。
	施工計画	3	2.25	1.50	赤グループは、施工計画が具体的であること、建設期間中の安全性や騒音振動管理を厳格に行おうとする姿勢が評価された。
小計	36	23.99	20.16		
(3) 維持管理業務に関する事項	維持管理体制	2	1.33	1.00	赤グループは、非常に経験豊富な責任者を配置する点が評価された。
	維持管理計画	10	7.25	6.41	両グループとも適切な維持管理計画が提案されている点が評価された。 特に赤グループはより具体的な提案となっている点、要求水準よりも厳しい排出基準達成の提案となっている点が高く、当該基準設定によるコストアップもない点が評価された。
	小計	12	8.58	7.41	
(4) 運営業務に関する事項	運営体制	2	1.50	1.00	赤グループは、災害時の最大受け入れ可能件数や体制づくりなど具体的な提案が評価された。
	運営計画	10	6.83	5.83	両グループとも豊富な実績に基づいた運営計画が提案されており、それぞれ大きなエネルギー削減効果が期待できる提案が評価された。 特に赤グループはより具体的な計画が提案されている点が高く評価された。
	小計	12	8.33	6.83	
合計		70	47.65	39.40	